

令和5年度入学生 キャリア教育全体計画

| | | | |
|------|----|---------|----------------|
| 学校番号 | 73 | 学校名(課程) | 塩尻志学館高等学校(全日制) |
|------|----|---------|----------------|

1 全体目標

○ 将来の職業選択を視野に入れた進路への自覚を深めさせ、社会の変化に主体的に対応できる心身ともに健康な人材を育成する

2 現状・課題

地域を題材にした探究学習を各学年で実施し3年間継続・発展させて学ぶことができている。地域の課題や魅力を知り、課題解決や魅力を発信することを目指し、協働して学びに向かう力が身に付いている。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)【キャリア・デザイン力】を含める。
学校で言い換えた力でもよい。

- a 聞く力、書く力、発表する力等の定着から、他者の立場や意見を理解し、自分の考えを正しく伝え、集団の向上に貢献できる力
- b 自分を見つめ、社会を考え、自らの学びを構築し、自己のキャリアデザインを描く力
- c 自ら課題を発見し、その解決に向かって考え・行動する力や社会に発信する力
- d 多面的・多角的なものの見方・考え方を身に付け、仲間や他者と協働して、望ましい社会を創造する力

4 内容

| 指導項目 | 指導方針〈対応する項目〉 |
|--|--|
| ①自己の在り方、生き方を考え、将来設計と社会参画の意識を醸成する | ア キャリア教育を主眼とする科目(「産業社会と人間」「キャリアプランニング」「キャリアデザイン」「総合研究」)の3年間の体系的な学習を実施する。〈①②③④〉 |
| ②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む | イ 各教科の授業、学校生活の諸場面をキャリア教育的視点で捉える。〈①②③④〉 ウ 総合学科の幅広い科目選択を通して、自己の進路や生き方を考えさせる。〈①④〉 |
| ③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す | エ 各単元において、学習目標の明確化、効果的な学習形態の工夫、評価と振り返りという流れを指導の基本とする。〈①②③〉 |
| ④卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む | オ 就業体験学習や総合研究発表会などの様々な活動を、生徒自身の主体的な取り組みの場と位置づけ、支援する。〈②③〉 カ グループワークや発表の場を設定し、プレゼンテーション能力や聞く力を育成する。〈①②〉 |

| 指導場面等 | 指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉 |
|----------------------|---|
| 教科の授業 | ・「産業社会と人間」での学習方法や学習形態の各教科への応用〈1年〉 ・「読み・書き」の基礎的な力の育成と各教科の基礎力を土台とした進路・科目選択への指導 |
| 総合的な探究の時間 | ・「キャリアプランニング」〈2年〉:「産業社会と人間」の学習を土台にした発展的な進路学習の実施 ・「キャリアデザイン」「総合研究」〈3年〉:議論や個人研究を通じた論理的思考と批判的思考の育成 |
| 特別活動 | ・進路講演会やガイダンスなどを交えた科目選択作業の計画的かつ段階的な実施〈1,2年〉 ・数多くの講演やグループ活動を通じた基礎的汎用的能力の養成〈各学年〉 |
| 校外の体験活動 (就業体験活動等) | ・「信州学」への取り組み〈1年〉、就業体験学習〈2年〉、探究学習の日〈1,2年〉、研修旅行〈2年〉、福祉施設体験・ボランティア〈各学年〉、オープンキャンパス〈各学年〉、部活動による地域活動〈各学年〉 |
| 地域や産業界等との連携 | ・塩尻市(産業政策課、NPO、スナバ、商工会)の協力を得た「シオジリ学(信州学)」〈1年〉への取り組み ・上記各団体と連携した各授業の実施 ・1年生の学習発表会と3年生の総合研究発表会の公開 |
| 評価 | ・教員による評価に加え、ワークシートによる生徒の自己評価の実施 ・卒業時の生徒アンケートの実施 |
| 中学校との連携 (指導の継続性) | ・学校説明会、公開授業における中学生対象の本校キャリア教育についての概要説明 ・中学校訪問、中学校での出前授業の実施 |

| | |
|--------------|---|
| 校内の推進体制 | ・キャリア教育推進部(1年担当3名、2年担当2名、3年担当2名、科目選択担当1名、主任1名)が主導し、学年会、進路指導部と連携を図り、全職員で実施する。 |
| キャリアパスポートの取組 | ・ポートフォリオによる学習・活動記録の蓄積(月1回)、活動の振り返りと省察(年3回)。 ・キャリアパスポートを生徒、教員(担任)、学校において活用する。 |

5 学年別指導計画

| | 1年 | 2年 | 3年 |
|------|---|--|--|
| 目標 | ○コミュニケーション能力、将来の職業選択に向けた学習する力の育成 ○自己の生き方の認識と他者理解 ○探究学習の基礎力の育成 | ○進路意識の向上と学ぶ目的の明確化 ○課題対応能力、キャリアプランニング能力の涵養 ○社会と自己との関わりの認識 | ○人間関係形成、社会形成能力の向上 ○自己管理能力の育成と進路実現 ○論理的、批判的思考力の育成 |
| 主な取組 | ○2年次科目選択 ○「シオジリ学(信州学)」への取組み ○探究学習の日 | ○3年次科目選択 ○就業体験・職場見学・オープンキャンパス ○総合研究事前学習(テーマ決め) | ○総合研究 ○進路探究活動 ○ポートフォリオまとめ |
| 評価 | ・生徒の自己評価と提出物の点検評価 ・3つの観点に基づく客観的評価 | ・生徒の自己評価と提出物の点検評価 ・3つの観点に基づく客観的評価 | ・生徒の自己評価と提出物の点検評価 ・3つの観点に基づく客観的評価 |

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

| | 教科 | 総合的な探究の時間 | 特別活動 | その他(面接・評価等) |
|----|---|---|---|--|
| 1年 | 4「産業社会と人間」ガイダンス 聞く力と書く力のワーク 「シオジリ学(信州学)」への取組み 模擬授業 「体育」ー協調性、他者理解、公正な態度育成(通年) 7探究学習の日 | 1学年では実施しない | 「シオジリ学」講演会 総合学科ガイダンス 自己理解(スタディーサポート) 職業発見・理解 進路希望調査 文化祭に関わる諸活動 「志学の時間」(通年) ポートフォリオ(通年) | 個人面接(5月) 三者面談(7月) |
| | 夏休 補習 | | | |
| | 9 探究学習の日後学習 科目選択 ブドウ収穫体験 シオジリ学(プロジェクト型学習) | | 2年次科目選択 進路希望調査 進路交流会 | 三者面談(10月) 個人面談(12月) |
| | 1 ライフプランの作成 2 「総合研究発表会」参加 「産業社会と人間」学習発表会 春休 | | ワイン研修報告会参加 1年間の振り返り | 年度末評価(2月) 活動の総括 次年度計画の作成 |
| | ※各教科において基礎的・汎用的能力育成の観点に基づく取り組みとマナーやモラルの定着を図る。 4「体育」ー集団作り、協調性、他者理解、公正な態度育成(通年) 「家庭基礎」ー家計収支と消費者 | | ※科目名「キャリアプランニング」(1単位) 「キャリアプランニング」ガイダンス 分野別学習と体験型学習 小論文学習 科目選択 7「探究学習の日」 | 自己理解(スタディーサポート) 進路希望調査 3年次科目選択 平和人権学習 文化祭に関わる諸活動 志学の時間(通年) ポートフォリオ(通年) |
| 2年 | 夏 補習 休 | 「シオジリ学」(2nd Stage) 就業体験・職場見学(対象者) オープンキャンパス(対象者) | | |
| | 9「家庭基礎」ー家庭生活と労働 「公共」ー民主主義の基本原則 | 科目選択 体験学習に関する学習発表会 総合研究事前学習・研究テーマ検討 | 性教育講演会 研修旅行 進路交流会 | 三者面談(10月) 個人面談(12月) |
| | 12「家庭基礎」ーライフスタイルと生き方の多様化 春休 | 「総合研究発表会」参加 | ワイン研修報告会 1年間の振り返り 主権者教育 | 年度末評価(2月) 次年度計画の作成 |
| | 4「小論文」ーレポートの書き方 「体育」ー協調性、他者理解、公正な態度育成(通年) | 「総合研究」調査、研究(通年) 「キャリアデザイン」 志願理由書の作成、志願分野の研究 模擬面接 | 進路講演会 進路希望調査 「志学の時間」(通年) ポートフォリオ(通年) | 個人面談(5月) 三者面談(7月) |
| 3年 | 夏 補習 休 | | オープンキャンパス(希望者) 職場訪問(就職希望者) | |
| | 9 各教科による学力補充補習 | 未来志向(未来の社会と自分の関わりを考える学習) | 進路講演会 進路希望調査 進路交流会 | 三者面談(10月) 個人面談(12月) |
| | 12 1 | 「総合研究」発表会 | 金融教育講演会 | 卒業時アンケート |